【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-104520(P2009-104520A)
【公開日】平成21年5月14日(2009.5.14)
【年通号数】公開・登録公報2009-019
【出願番号】特願2007-277573(P2007-277573)
【国際特許分類】
*Ｇ０６Ｆ　17/30　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｑ　50/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/30　３５０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　17/30　１７０Ｚ
Ｇ０６Ｆ　17/30　３２０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　17/60　１５４

【手続補正書】
【提出日】平成22年9月24日(2010.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検索対象である商標の称呼と、商標情報データベースに格納されている商標出願登録情報の称呼とを対比し、対比する二つの商標の称呼が互いに類似するか否かを判断する処理を行う商標検索システムであって、
前記検索対象として入力された商標情報と所定の関係を有する商標情報が付与された商標出願登録情報を前記商標情報データベースから抽出する商標抽出手段と、
前記商標抽出手段により読み出された商標情報が属する商標出願登録情報に付与されている称呼情報を読み出す称呼読み出し手段と、
前記称呼読み出し手段により読み出された称呼情報を検索対象である入力された商標情報と関連づけする称呼関連づけ手段と、
前記称呼関連づけ手段により関連づけされた称呼情報を検索対象とし、前記関連づけされた称呼情報と前記商標情報データベースに格納されている商標出願登録情報の称呼を対比し、対比する二つの商標の称呼が互いに類似するか否かを判断する商標類否判定手段とを備えることを特徴とする、商標検索システム。
【請求項２】
前記商標抽出手段は、前記検索対象として入力された商標を構成する文字列と共通する文字列を有する商標情報が付与された商標出願登録情報を前記商標情報データベースから抽出することを特徴とする、請求項１に記載の商標検索システム。
【請求項３】
前記商標抽出手段は、入力された商標情報の文字列から置換対象文字を検索し、前記置換対象文字を所定の使用可能文字に置換する文字統一処理を行った置換商標情報を用いて前記商標出願登録情報の抽出を行うことを特徴とする、請求項２に記載の商標検索システム。
【請求項４】
前記商標抽出手段は、前記置換対象文字と前記使用可能文字との変換データを備えてお

り、前記変換データに基づいて前記文字統一処理を行うことを特徴とする請求項３に記載の商標検索システム。
【請求項５】
前記商標抽出手段は、前記商標情報データベースに格納されている商標出願登録情報の商標情報の文字列から置換対象文字を検索し、前記置換対象文字を所定の使用可能文字に置換する文字統一処理を行った置換商標出願登録情報を用いて前記商標出願登録情報の抽出を行うことを特徴とする、請求項３又は４に記載の商標検索システム。
【請求項６】
前記商標情報データベースは、格納する商標出願登録情報の商標情報について、商標の構成態様を示す特殊記号を文字列として含んでおり、
前記商標抽出手段は、前記商標情報データベースに格納されている商標出願登録情報のうち、商標の構成態様を示す特殊記号を含む商標出願登録情報を抽出対象から除外することを特徴とする、請求項５に記載の商標検索システム。
【請求項７】
前記称呼読み出し手段は、前記商標抽出手段によって抽出された商標出願登録情報の称呼情報を称呼リストに登録すると共に、前記称呼リストに登録される共通する称呼情報の数を称呼情報ごとにカウントすることを特徴とする、請求項１から６のいずれかに記載の商標検索システム。
【請求項８】
前記称呼関連づけ手段は、前記称呼読み出し手段によりカウントされた称呼情報のうち、カウント数が多いものを上位となるように前記商標情報と関連づけることを特徴とする請求項７に記載の商標検索システム。